

## 令和元年度 神奈川歯科大学短期大学部の戴帽式が挙行されました

令和元年 9月7日（土）

9月7日（土）、令和最初の戴帽式が保護者の方をはじめ多くの関係者が参列する中、大講堂で行われました。これまで看護師の象徴だったナースキャップは、感染予防や医療安全の観点から、1990年代の後半に廃止が始まり、今世紀に入りほとんどの病院でみられなくなりました。戴帽式は、近代看護の生みの親であるナイチンゲールの精神を受け継ぐ、という意味を持ちます。共に医療職を目指す看護学生と歯科衛生学生が初めての病院実習に臨む前に職業に対する意識を高め、またその責任の重さを自覚するための儀式となっています。この日の誓いを胸に、愛の精神に満ちた看護師、歯科衛生士として人々の健康を支え、社会に貢献することを期待します。

